

資料1-7

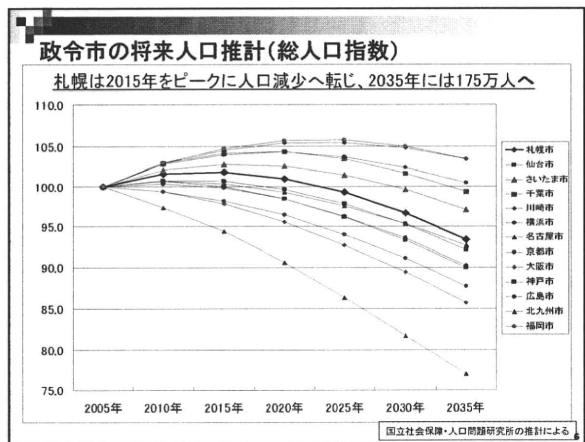
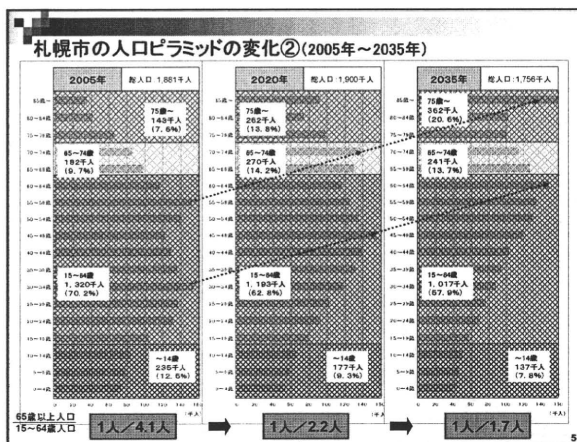
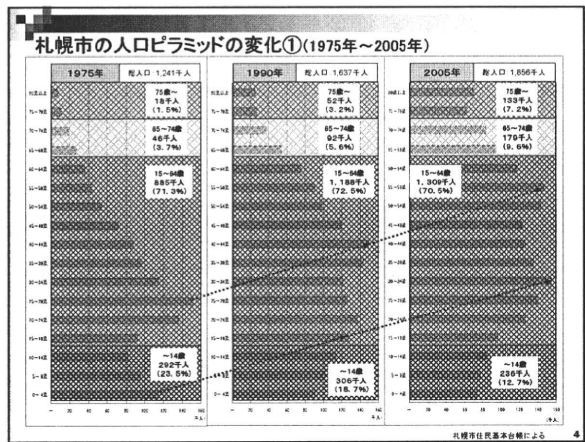
資料7
**札幌の医療の
 現状・特性・課題等**

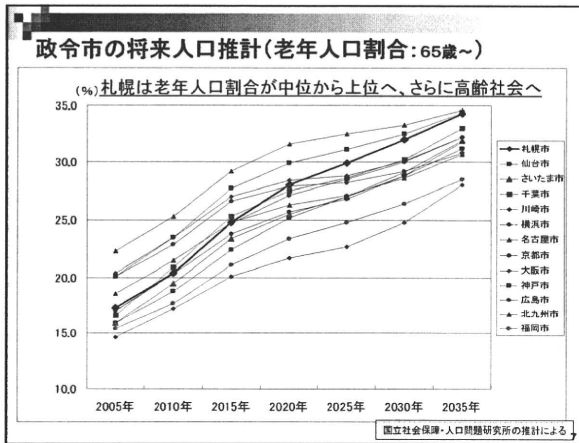
平成23年1月12日（水）
 札幌市保健福祉局保健所医療政策課

【もくじ】

1. 札幌市の人口動態 3
2. 札幌市の医療資源 8
3. 札幌市民の医療に対する意識 . . . 17
4. 札幌市の医療従事者の意識 . . . 28
5. 北海道における札幌市 35

1. 札幌市の人口動態



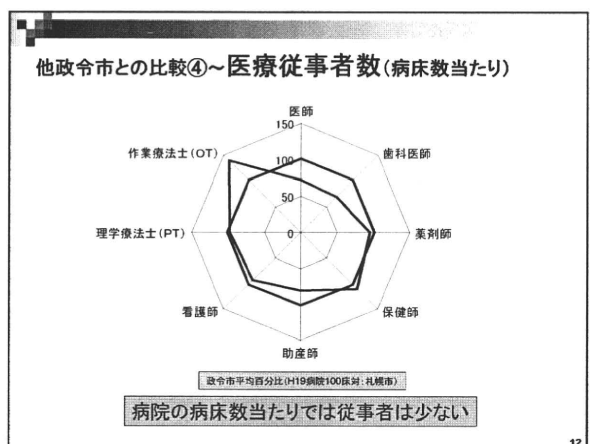
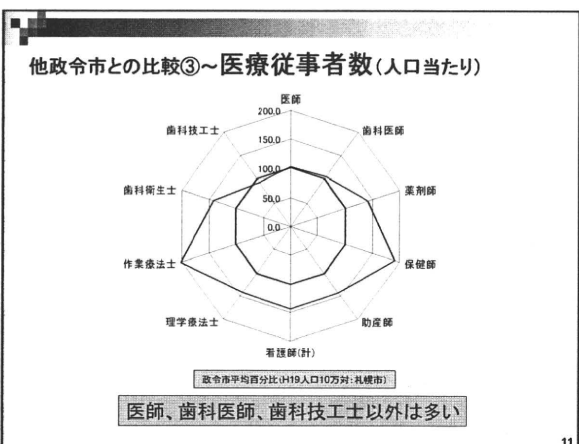
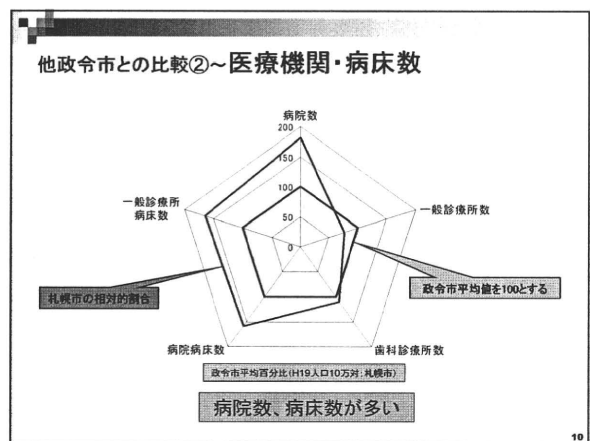


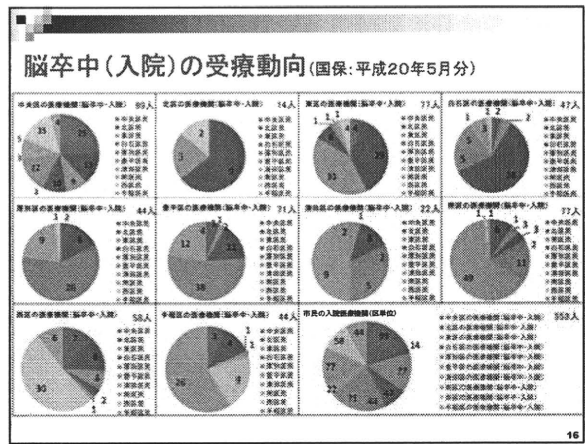
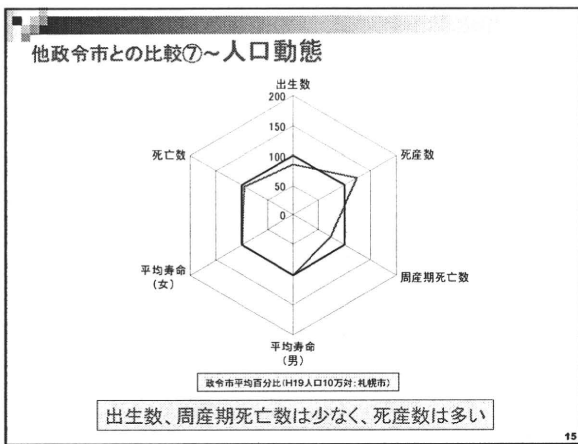
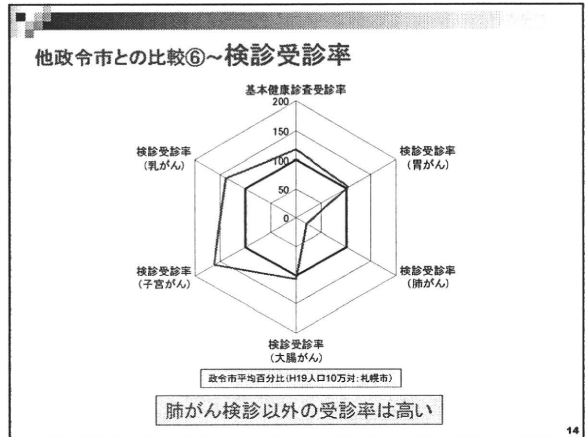
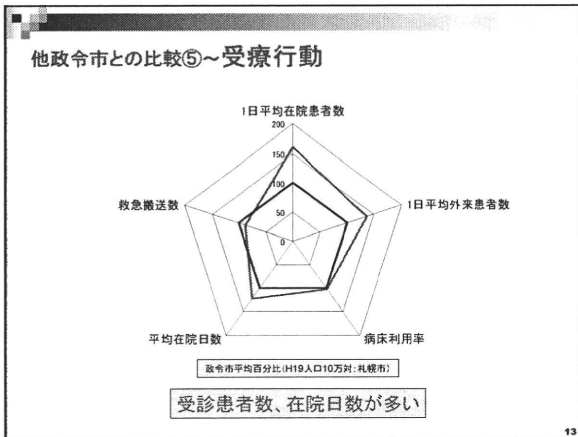
2. 札幌市の医療資源

札幌市の医療施設・従事者数

病院	209施設 (10.7)①	医師	5,557人 (292.8)⑥
病院病床	37,781床 (2,004.3)①	歯科医師	2,015人 (106.2)⑦
診療所	1,243施設 (65.9)⑩	薬剤師	1,121人 (59.1)①
診療所病床	2,606床 (138.2)④	看護師	16,814人 (885.9)②
歯科診療所	1,216施設 (64.5)⑤	准看護師	4,362人 (229.8)⑥

(注)平成20年病院報告、医療施設調査。()内は人口10万対。○番号は政令市中の順位(平成20年時点で17市)。医療従事者は医療施設の従事者に限る(常勤換算後)。





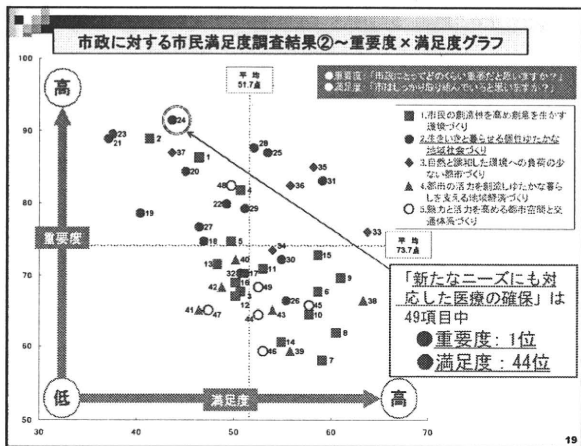
3. 札幌市民の医療に関する意識

市政に対する市民満足度調査結果①～集計表

項目	満足度	割合	満足度	割合
1 安心して子どもを産み育てられる環境づくり	48.8	41	84.2	8
2 労働を必要とする子どもへの支援の充実	41.2	46	84.9	4
3 子どもを働かせ過ぎず健全な社会の構築	50.8	27	64.1	33
4 学校教育の充実	50.5	29	81.5	14
5 学校、習字、地域の連携	49.8	32	74.8	29
6 生涯学習への支援の充実	53.4	8	67.1	34
7 文化芸術の振興(学童課課)	53.9	9	58.2	49
8 文化芸術の振興(施設課課)	50.3	4	61.7	45
9 文化財の保存活用(市民生活課課)	41.8	2	61.1	39
10 スポーツ・レクリエーションの振興(学童課課)	57.5	11	64.4	44
11 スポーツ・レクリエーションの振興(施設課課)	53.2	20	71.2	27
12 市民による社会活動の振興	50.5	31	67.6	34
13 市民共同参加型社会の形成	48.2	27	71.5	28
14 市民が支えるボランティア活動の推進	54.7	18	68.5	44
15 市民参加型ボランティア活動の推進	58.8	7	72.7	23
16 情報ネットワークの形成	50.5	20	68.9	31
17 市民の主体的な地域のまちづくりの推進	51.4	28	68.7	29
18 市民によるまちづくりの推進	48.8	28	74.3	21
19 市民参加型社会の形成	48.8	47	78.7	17
20 市民参加型社会の形成	48.8	43	84.8	15
21 高齢者に対する支援の充実(介護課課)	37.1	46	74.8	2
22 高齢者に対する支援の充実(介護課課)	48.2	35	78.8	15
23 高齢者に対する支援の充実	37.3	48	84.6	5
24 新たなニーズにも対応したサービスの提供	43.9	44	81.5	1
25 市民参加型社会の形成	33.5	19	83.9	6

調査方法
●調査地域: 札幌市内
●調査対象: 満20歳以上の男女個人
●標本数: 5,000人
●調査方法: 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
●調査期間: 平成22年1月29日から2月18日まで
●抽出方法: 住居基本台帳から標本の抽出を行う「等間隔無作為抽出法」

●具体的な取組
・市立札幌病院などの運営
・救急医療体制の充実
・妊婦健診の充実など



一般市民の医療に関する意識調査結果① ～調査の概要

<調査の目的>
 ○健康・病気の予防に対する意識
 ○病気になった場合の行動
 ○医療に関する認識・札幌市の医療行政に対するニーズ

上記を調査することで、札幌市民の医療に対する認識を把握、市民が求める医療ニーズを探る。

<実施時期>
 ○平成21年2～3月

<調査の方法>
 ○調査対象: 札幌市内に住む20歳以上の男女個人
 ○調査票送付数: 3,000
 ○サンプルの抽出方法: 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
 ○調査票を郵送にて送付・回収
 ○回収数: 1,365 (回収率45.5%)

一般市民の医療に関する意識調査結果② ～医療に関する情報の入手手段

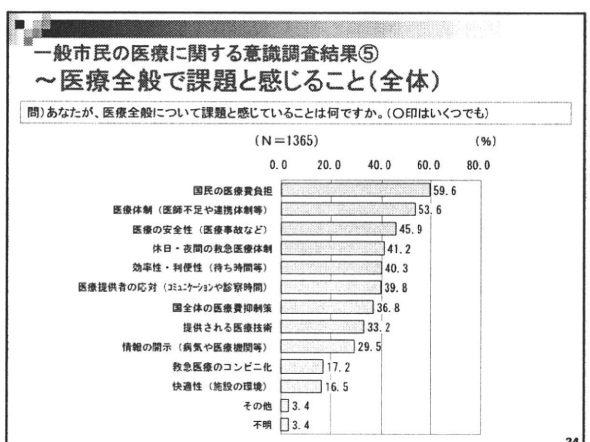
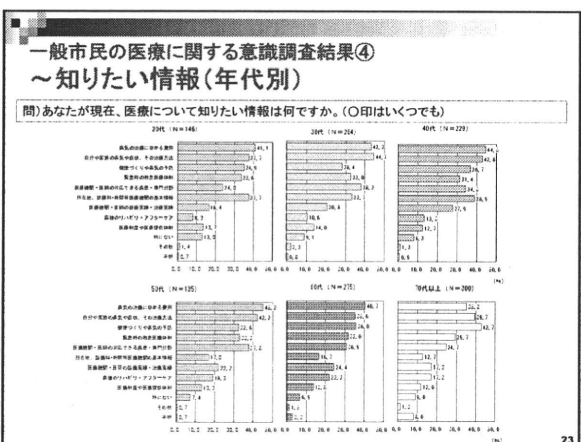
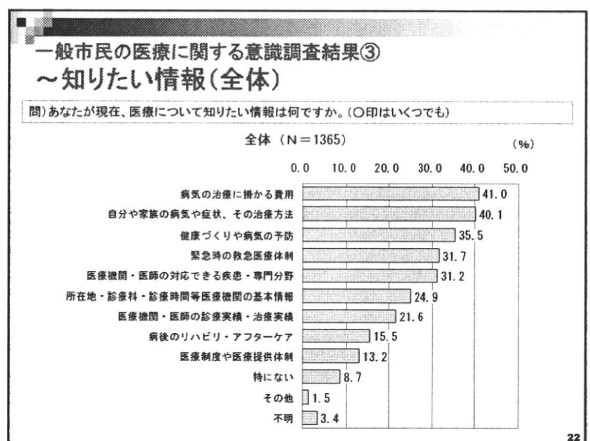
問) あなたは健康や病気や医療に関する情報を主にどこから得ていますか。(○印はいくつでも)

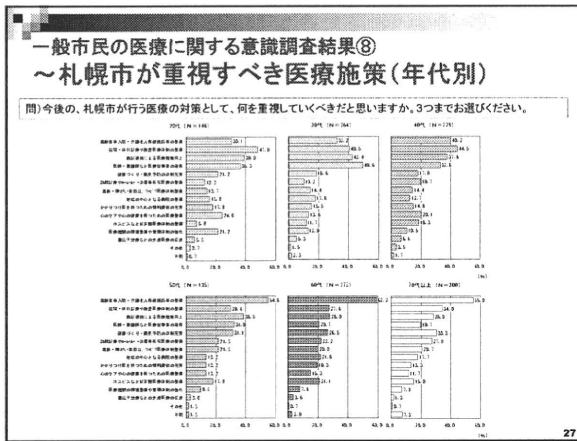
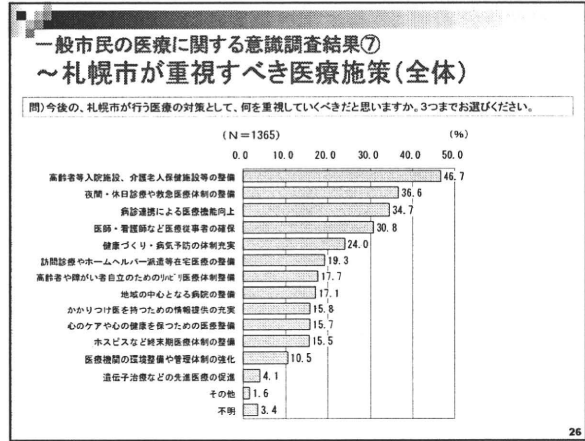
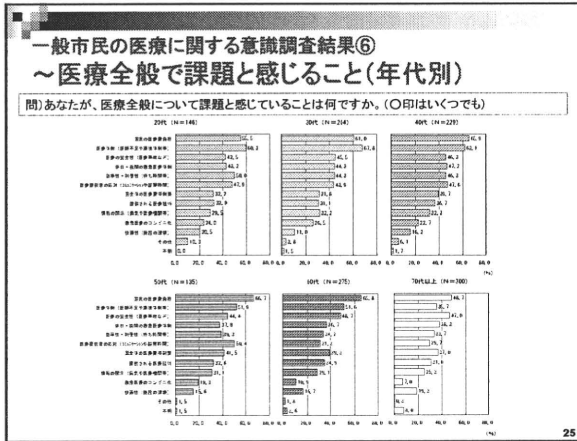
年代	テレビ、ラジオ、新聞	家族、友人、知人	病院、診療所	雑誌、専門誌、単行本	インターネット	市などの広報紙、パンフレット、ホームページ	薬局、薬店	特になし	不明
全体 (N=1349)	74.1	43.1	31.4	24.6	23.7	11.1	5.8	11.1	5.8
20代 (N=146)	72.6	59.6	25.3	31.5	38.4	6.8	5.5	11.1	5.8
30代 (N=264)	75.4	48.1	18.6	24.2	45.1	7.2	11.1	5.8	5.8
40代 (N=229)	81.7	43.7	27.5	33.6	38.0	11.8	8.7	11.1	5.8
50代 (N=135)	85.9	48.1	31.1	28.9	19.3	11.1	11.1	11.1	5.8
60代 (N=275)	74.2	37.8	37.5	20.7	9.6	12.7	9.1	11.1	5.8
70代以上 (N=300)	62.7	32.7	43.0	16.3	14.7	5.0	5.3	11.1	5.8

(データラベルは%、複数回答)

□ テレビ、ラジオ、新聞
 □ 病院、診療所
 □ インターネット
 □ 薬局、薬店
 □ 保健所、保健センター
 □ その他

□ 家族、友人、知人
 □ 雑誌、専門誌、単行本
 □ 市などの広報紙、パンフレット、ホームページ
 □ 特になし
 □ 不明





4. 札幌市の医療従事者の意識

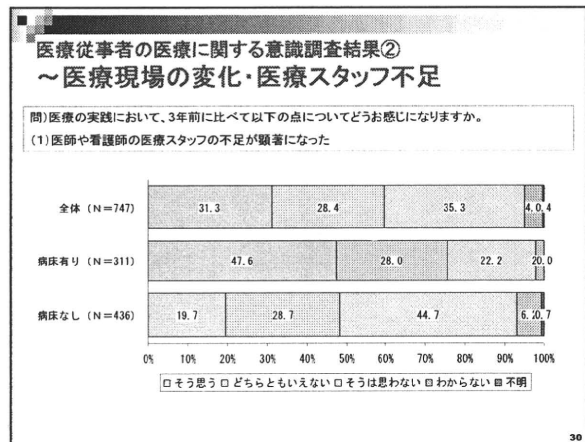
医療従事者の医療に関する意識調査結果① ～調査の概要

<調査の目的>
 ○医療従事者の直面している課題
 ○在宅診療、医療連携の現状と課題・希望
 ○札幌市の医療行政に対するニーズ

上記を調査することで、札幌市内の医療従事者が求めている施策を探る。

<実施時期>
 ○平成21年2～3月

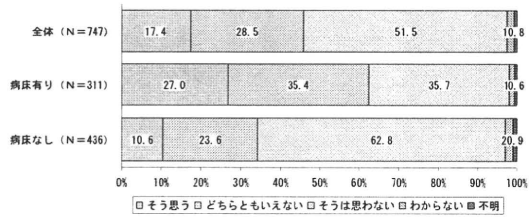
<調査の方法>
 ○調査対象 : 札幌市内の病院に勤務する医師
 ○調査票送付数 : 209病院(各3通)、1243診療所(各1通)、計1870
 ○返信用封筒を同封のうえ郵送にて送付
 ○回収数 : 751(回収率40.2%)



医療従事者の医療に関する意識調査結果③ ～医療現場の変化・勤務日数・時間の増加

問) 医療の実践において、3年前に比べて以下の点についてどう感じになりますか。

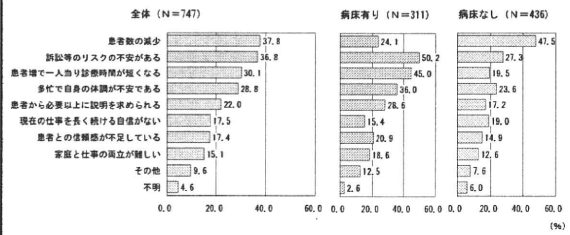
(2) 勤務日数・時間が大幅に増えた



31

医療従事者の医療に関する意識調査結果④ ～日常勤務における課題

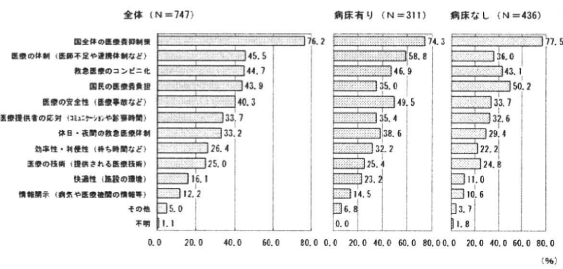
問) あなたが、日常の勤務において課題と感じていることは何ですか。(O印はいくつでも)



32

医療従事者の医療に関する意識調査結果⑤ ～医療全般に関する課題

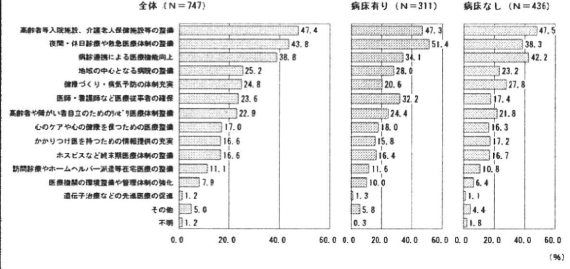
問) あなたが、医療全般について課題と感じていることは何ですか。(O印はいくつでも)



33

医療従事者の医療に関する意識調査結果⑥ ～札幌市が重視すべき医療施策

問) 今後、札幌市が行う医療の対策として、何を重視していくべきだと思いますか。この中から3つまでお選びください。



34

5. 北海道における札幌市

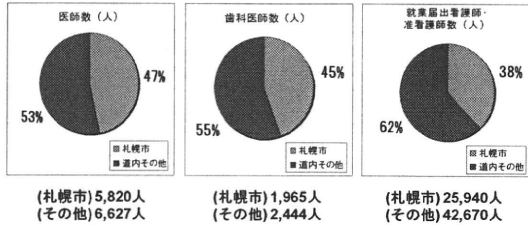
各二次医療圏における病床数(療養病床及び一般病床)

二次医療圏	基準病床数(A)	既存病床数(H19.10.1)(B)	過剰病床数(B)-(A)
南渡島	5,020	6,038	1,018
南樺山	218	397	181
北渡島・釧路山	454	733	283
札幌	28,215	34,348	6,131
根室	2,323	3,538	1,253
南空知	1,820	2,412	592
中空知	1,403	2,217	814
北空知	515	877	362
西尾樺	2,907	4,033	1,128
東尾樺	2,198	2,437	239
日高	548	837	289
上川中部	5,799	6,615	816
上川北部	720	1,051	331
富良野	392	500	108
留萌	439	792	353
宗谷	552	778	226
北網	2,589	3,216	627
遠軽	850	1,283	433
十勝	3,745	4,551	806
釧路	3,138	3,579	441
根室	520	719	199
合計	64,393	80,997	16,604

36

道内における札幌市のシェア③
医療従事者数

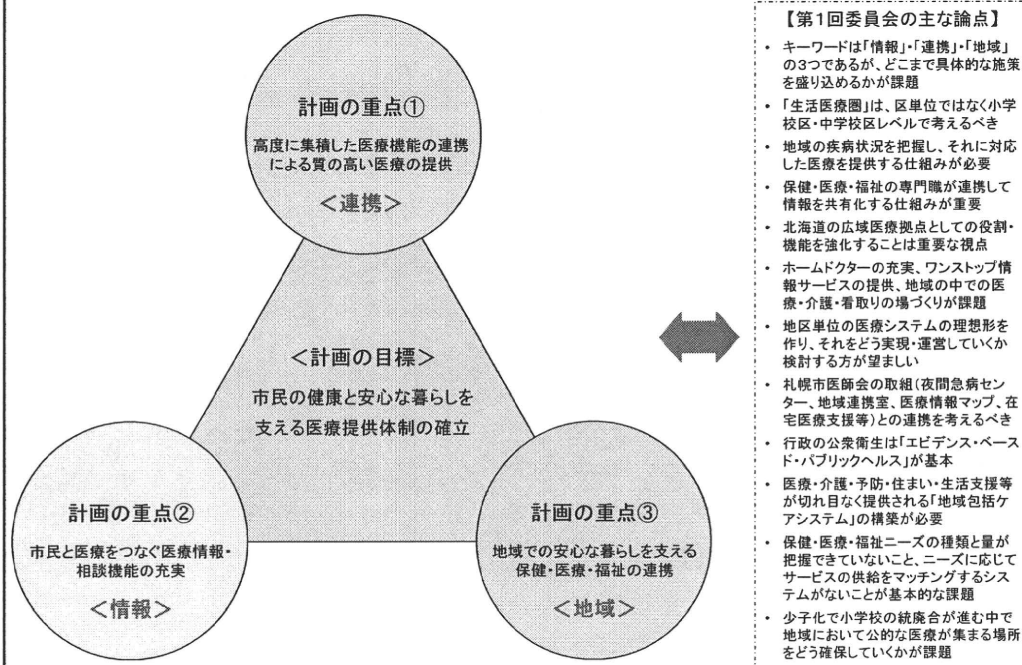
医療従事者は過度に集中している(偏在?専門性の集中?)

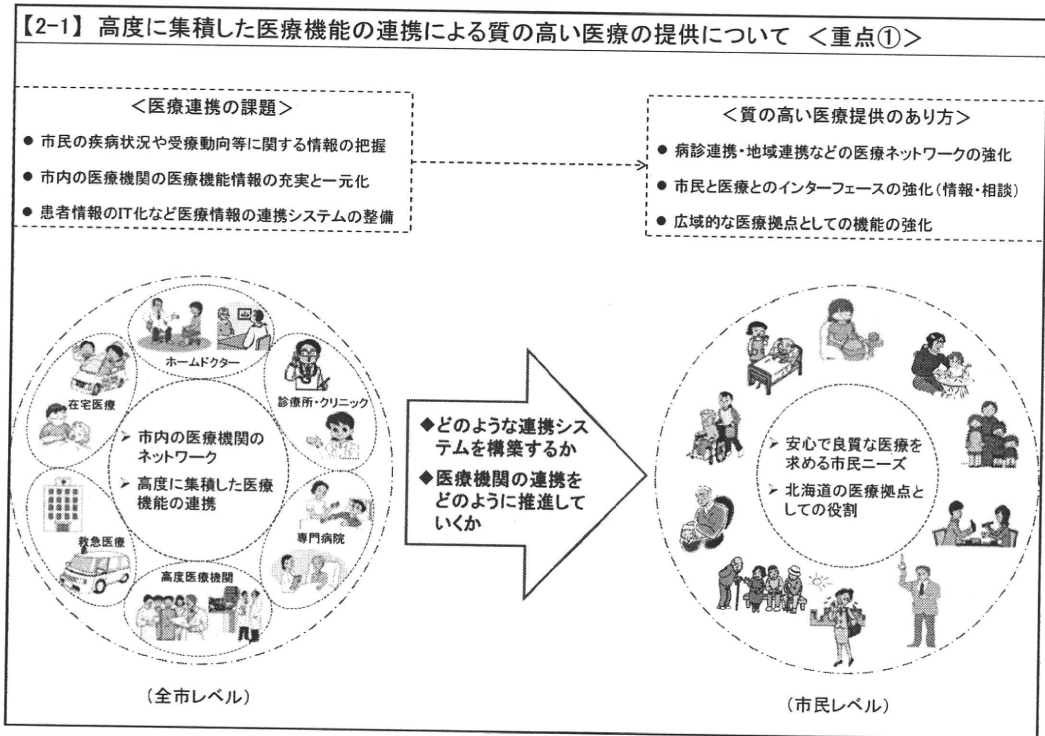
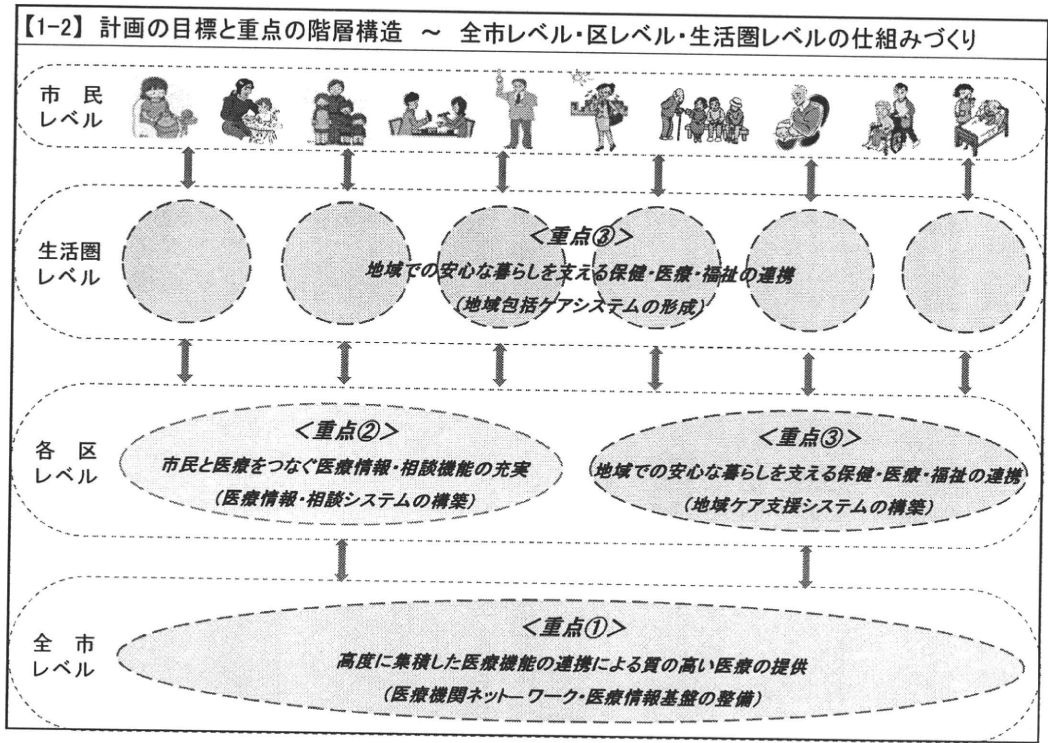


(平成20年医療施設(動態)調査・病院報告から)

札幌市版医療計画(仮称)の目標と重点について
(議論のたたき台)

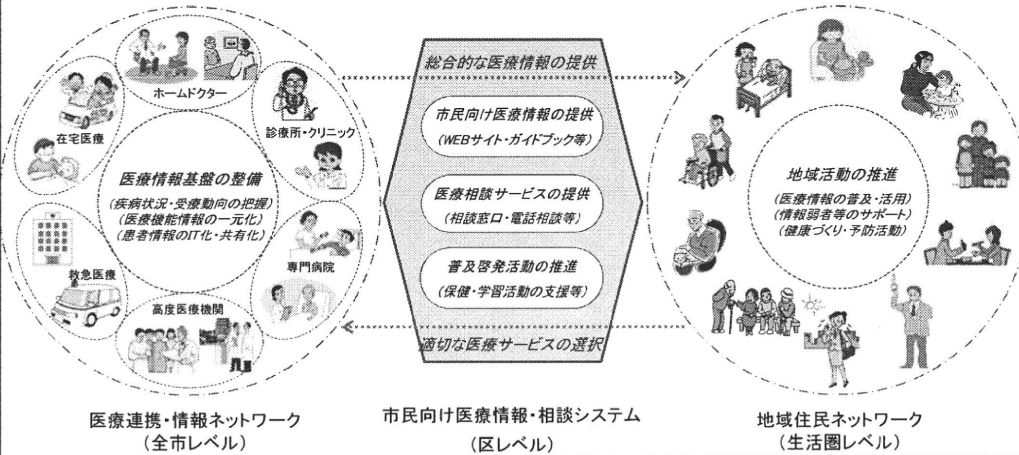
【1-1】 計画の目標と重点の柱立て ～「連携」「情報」「地域」がキーワード





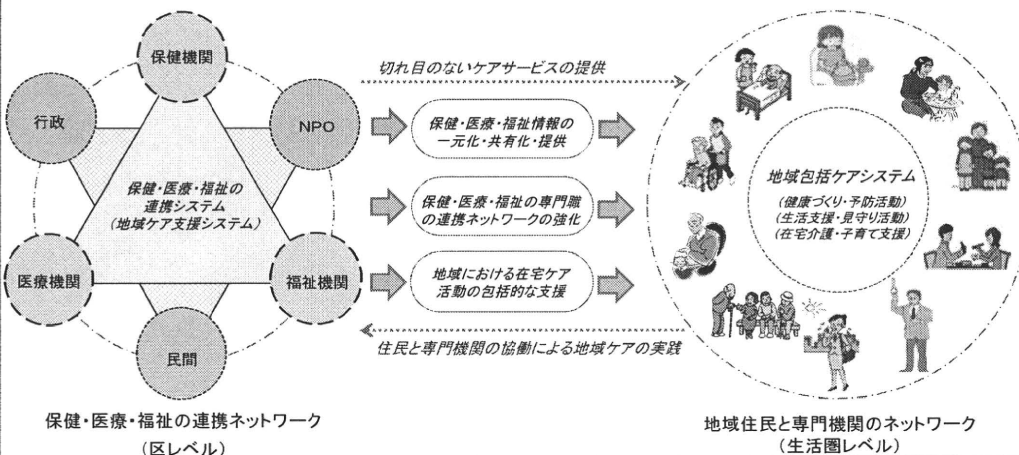
【2-2】 市民と医療をつなぐ医療情報・相談機能のあり方について <重点②>

- (1) 市内の医療機関が連携して医療情報基盤の整備を推進(全市レベル)
 ~市民に対して総合的・包括的な医療情報を提供する上で、全市レベルの医療情報基盤とネットワークの整備が不可欠
 ~医療機関・関係団体が連携して、①疾病状況・受療動向の把握、②医療機能情報の一元化、③患者情報のIT化・共有化、などを推進
- (2) 各区の保健福祉部門が中心となり市民向けの医療情報・相談システムを構築(区レベル)
 ~市民と医療をつなぐインターフェース(中間支援システム)として、各区における医療情報提供・相談窓口機能の強化
 ~全市レベルの医療情報ネットワークを活用し、①市民向け医療情報の提供、②医療相談サービスの提供、③普及啓発活動の支援、などを推進
- (3) 地域において医療情報を普及・活用するための地域活動を推進(生活圏レベル)
 ~医療情報・相談システムを有効に活用するためには、生活圏レベルでの組織(地区福祉のまち推進センターなど)や住民組織等が中心となった活動が重要
 ~地域住民のネットワークを広げながら、①医療情報の普及・活用の取組、②情報弱者等のサポート、③健康づくり・予防活動、などを推進



【2-3】 地域での安心な暮らしを支える保健・医療・福祉の連携について <重点③>

- (1) 保健・医療・福祉の連携システムの形成(区レベル)
 ~各区における「在宅ケア連絡会」の取組などをベースとし、地域ケア支援組織としてネットワークを拡大・強化
 ~各区の保健福祉部門、地域包括支援センター、介護予防センター、福祉のまち推進センターなどの公的機関と医療機関・介護事業者・NPO等との連携を強化
- (2) 保健・医療・福祉情報の一元化と市民への提供(区レベル)
 ~区レベルの医療情報・相談システムの構築と連携し、保健サービスや介護サービス等に関する情報を一元化・共有化し、市民に対して包括的に提供
 ~生活圏における切れ目のないケアサービスの実現に向けた関係機関や専門職のインターフェースの強化、情報や課題の共有化などを推進
- (3) 安心な暮らしを支える地域包括ケアシステムを形成(生活圏レベル)
 ~住民の自立的な暮らしの支援、互いを支え合う活動の促進、保健・医療・福祉機関との連携などをコーディネートする仕組みづくりが重要
 ~日常生活圏における住民参加・協働による地域ケア活動の実践を通じて、新たな地域ケアシステムのモデルを構築

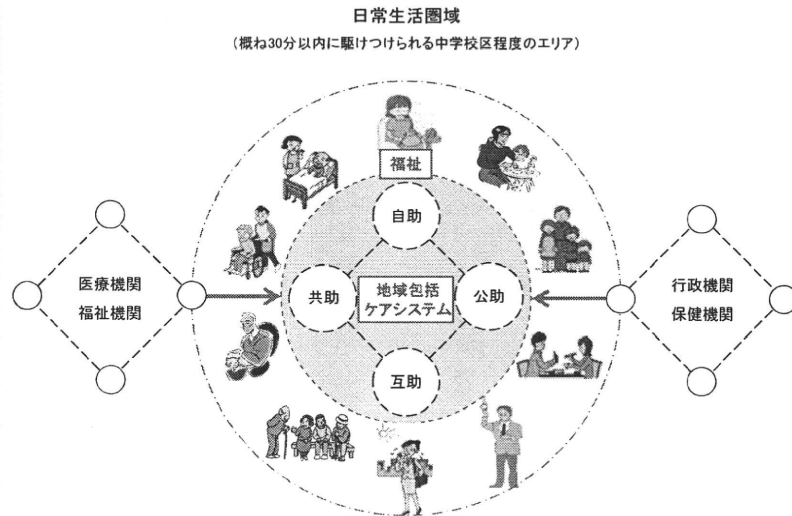


(参考)「地域包括ケア」のあり方について(厚生労働省案)

地域包括ケアのあり方

- 日常生活圏域内において、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービス等が切れ目なく、有機的かつ一体的に提供される体制を整備する。
- 地域包括ケア圏域は、「概ね30分以内に駆けつけられる圏域」を理想的な圏域として定義し、具体的には中学校区を基本とする。
- 地域包括ケアの提供にあたっては、それぞれの地域が持つ自助・互助・共助・公助の役割分担を踏まえ、特に自助と互助の取組を重視する。
- 自助と互助は、介護保険サービス(共助)を補完するものではなく、人生や生活の質を豊かにするものとして重要である。
- 特に住民主体のサービスやボランティア活動等は高齢者に様々な好影響を与えていることから、地縁・血縁に依拠しない多様な人間関係をもとに互助を推進すべきである。

(出典)
 ・「社会保障審議会介護保険部会」資料
 ・「地域包括ケア研究会」報告書



- 【自助】 自立的な暮らし・健康づくり・介護予防等の取組
- 【互助】 住民主体のサービスやボランティア活動等(インフォーマルケア)
- 【共助】 医療保険サービス・介護保険サービス等
- 【公助】 自助・互助・共助で対応できない生活保障等

札幌市版医療計画の目標・方針・重点施策について (たたき台②)

[0] 第2回専門委員会(H23.2.28)の主な論点について

第2回専門委員会の議事概要

札幌市医師会の取組

- 医療機関情報マップシステム
- 入退院サポートシステム
- 在宅療養支援システム
- 地域医療連携システム

在宅ケア連絡会の取組

- 在宅ケア連絡会の設立趣旨
- 西区在宅ケア連絡会の活動
- 各区連絡会の交流と情報共有
- 在宅ケア連絡会の今後の課題

拓北あいの里地区の取組

- ケア施設町内会の設立趣旨
- ケア施設町内会の組織概要
- 町内会・地元住民との関係
- ケア施設町内会の今後の活動

公的な保健・医療・福祉機関

- 市保健所、区役所、市立病院
- 福祉のまち推進センター
- 地域包括支援センター
- 老人福祉センター など

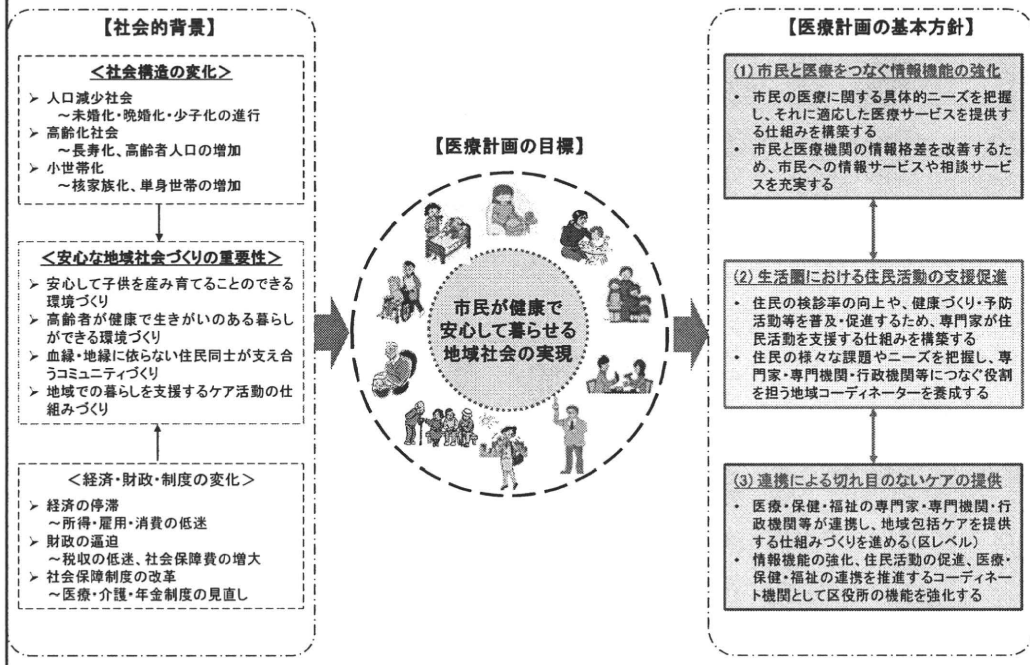
札幌市版医療計画(仮称)の目標と重点について(たたき台)

【1】計画の目標と重点の柱立てについて 【2】計画の目標と重点の階層構造について 【3】重点①～③のあり方について

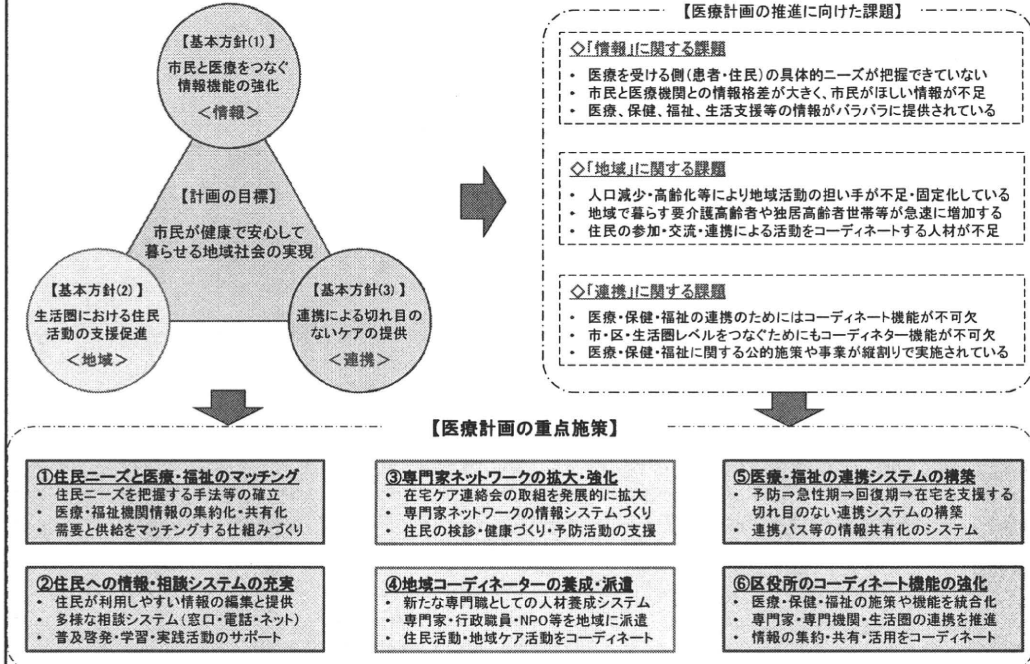
各委員の意見のポイント

- 北欧型のホームドクター制の導入など、生活圏、区、市の圏域の役割分担と医療配置の仕組みを考えるとどうか
- 保健・医療・福祉のネットワークを誰がコーディネートするのか、市、区、生活圏のレベルを誰がつなぐのか明確にすることが必要
- 市民が病気になる相談したい時にどこに行けば良いかわからない。市民と専門家をつなぐ仕組みが必要
- 市民にとっては医療だけではなく、精神的なケアや暮らしのケアを含めたトータルなサポートの仕組みづくりも重要
- 医療を提供する側の視点ではなく、医療を受ける側の視点に立った具体的なニーズのデータを把握することが必要
- 患者や住民の実際の医療ニーズと生活圏で提供できる医療資源をマッチングする仕組みづくりを札幌市が全国に先駆けて展開してはどうか
- 日本の皆保険制度と自由開業医制度は世界的に高く評価されており、この良さを生かしながら問題の解決、システムの改善を進めていくべき
- 計画の目標(アウトカム)は「市民の健康で安心な暮らしの実現」であり、そのための施策(アウトプット)が「新しい医療提供体制の確立」という整理ではないか
- 計画の目標(アウトカム)に関する具体的な成果目標や費用対効果などの評価基準やシステムをしっかりと設定する必要がある
- 医療はサービスを提供する側と受ける側の情報の非対称性が非常に大きく、その情報ギャップをどのように埋めていくかがポイントになる
- 様々な主体の連携やネットワークを機能させるためには、コーディネーターの存在が不可欠であり、区役所がその役割を担うべきである
- 区役所を末端機能ではなく、生活圏の保健・医療・福祉に関する情報機能や連携機能を発揮する主体的な機関として位置づける必要がある

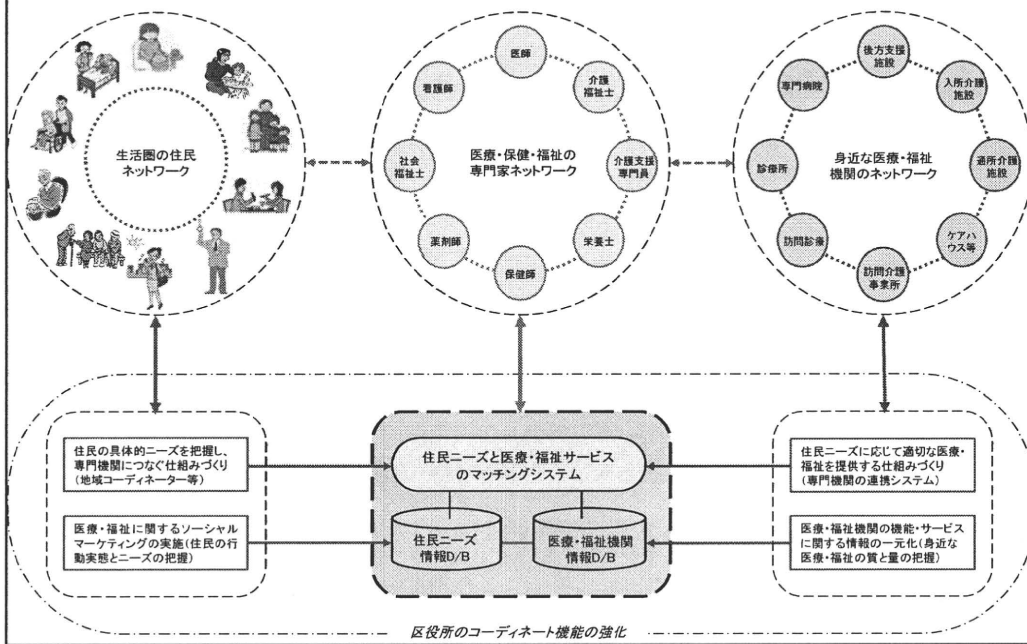
【1】札幌市版医療計画の目標と基本方針



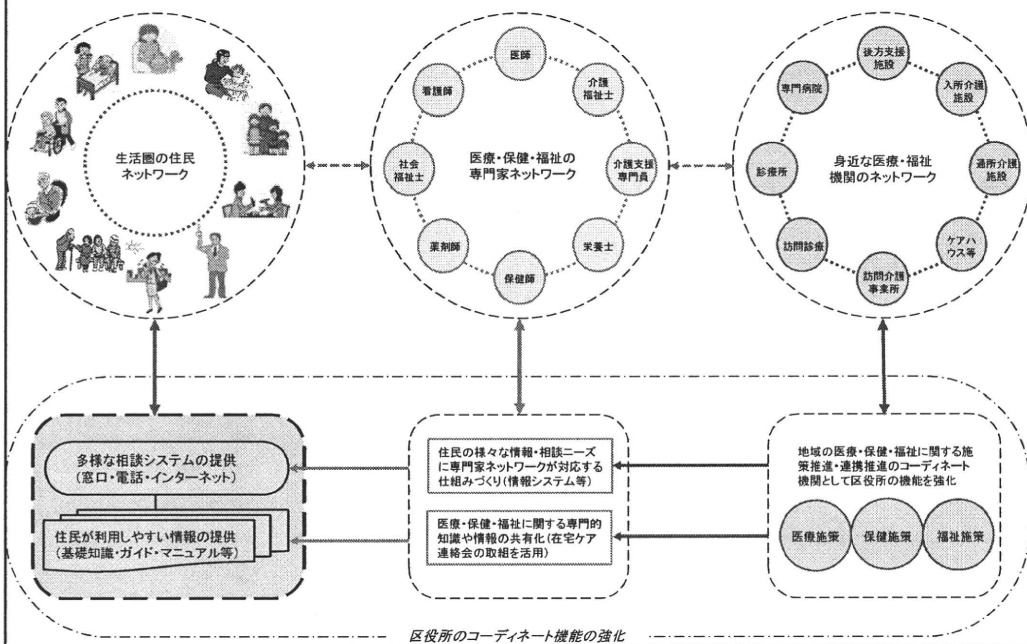
【2】札幌市版医療計画の課題と重点施策



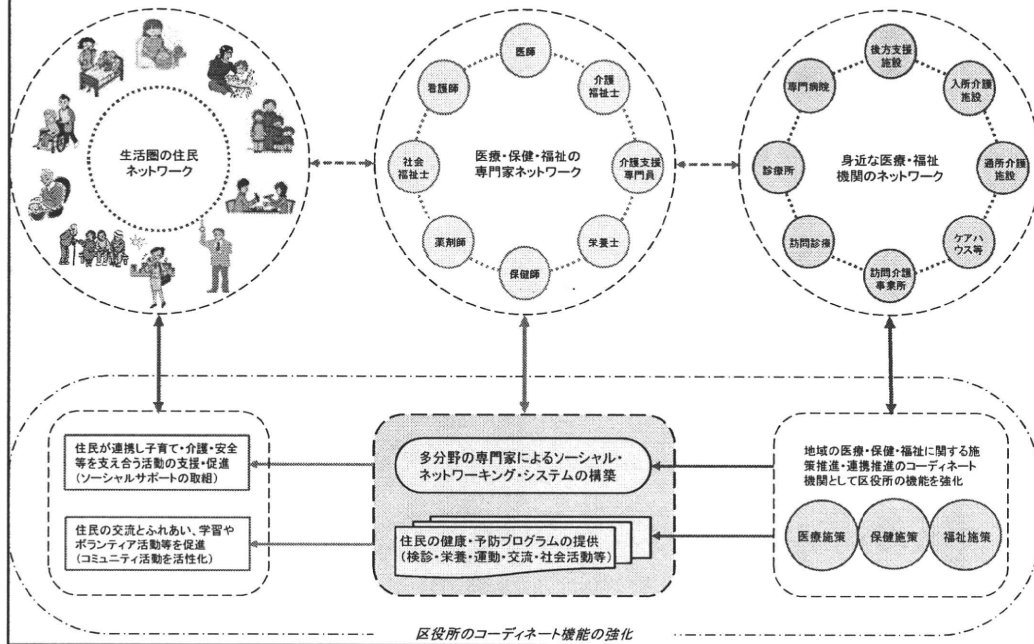
【3-1】重点施策の展開イメージ ①住民ニーズと医療・福祉のマッチング



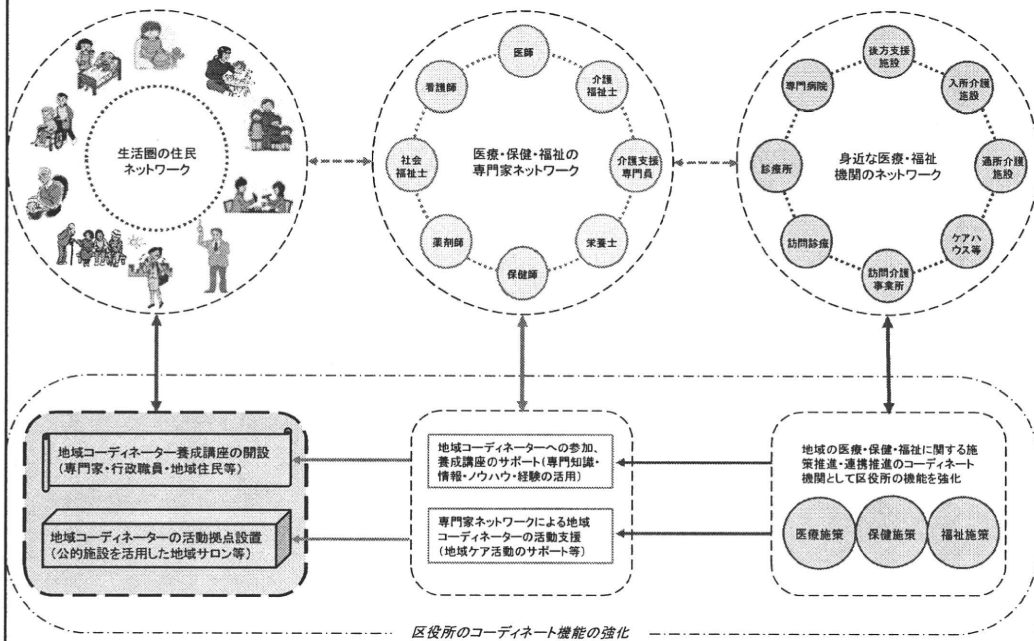
【3-2】重点施策の展開イメージ ②住民への情報・相談システムの充実



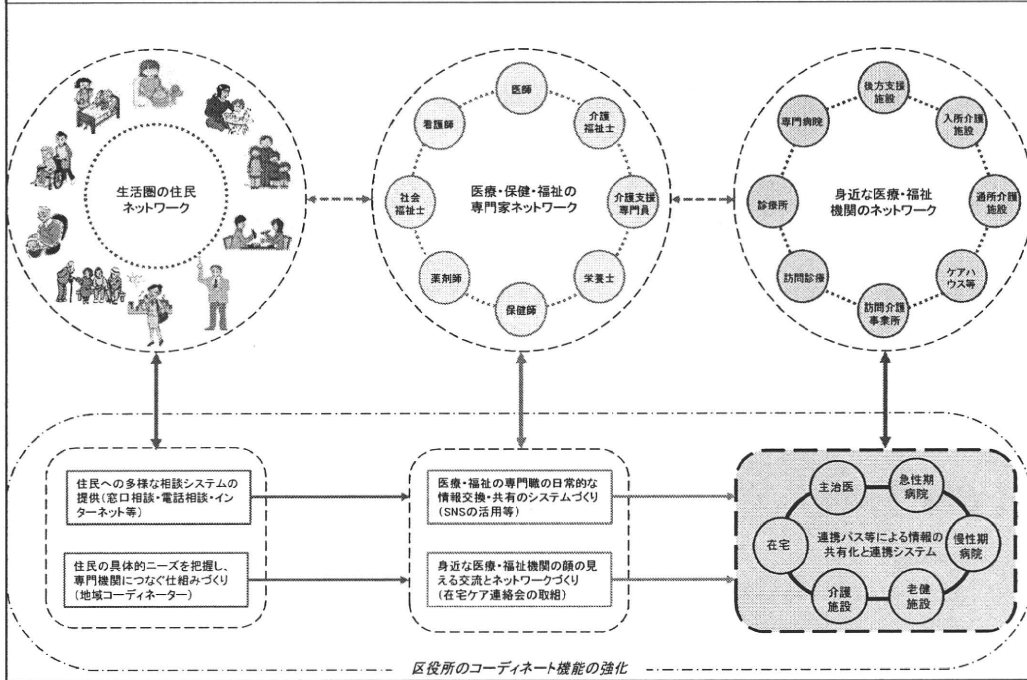
【3-3】重点施策の展開イメージ ③専門家ネットワークの拡大・強化



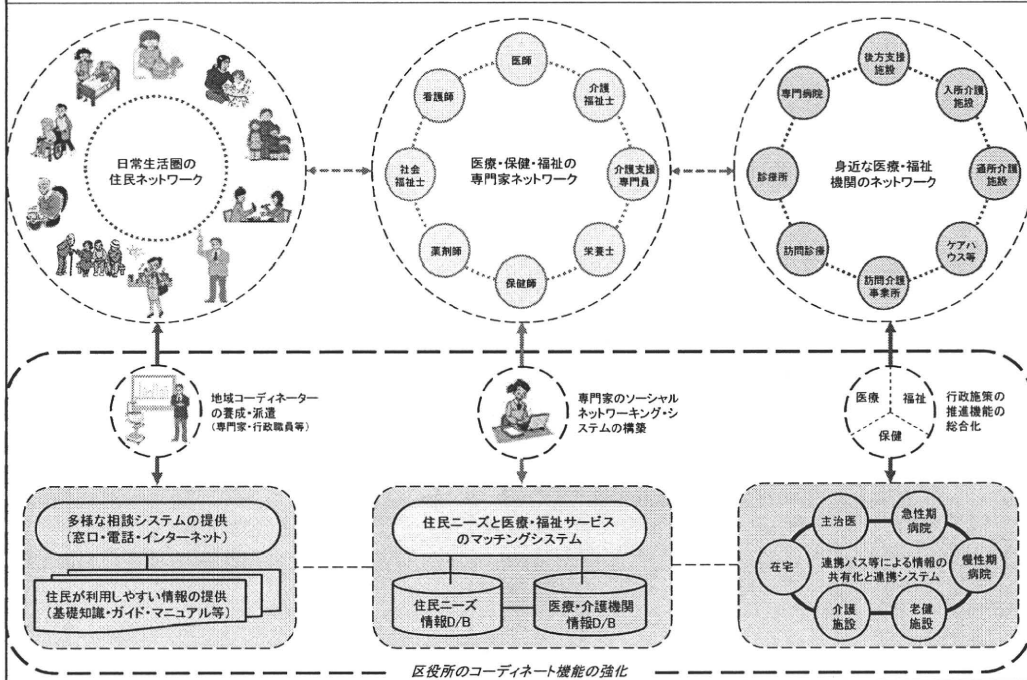
【3-4】重点施策の展開イメージ ④地域コーディネーターの養成・派遣

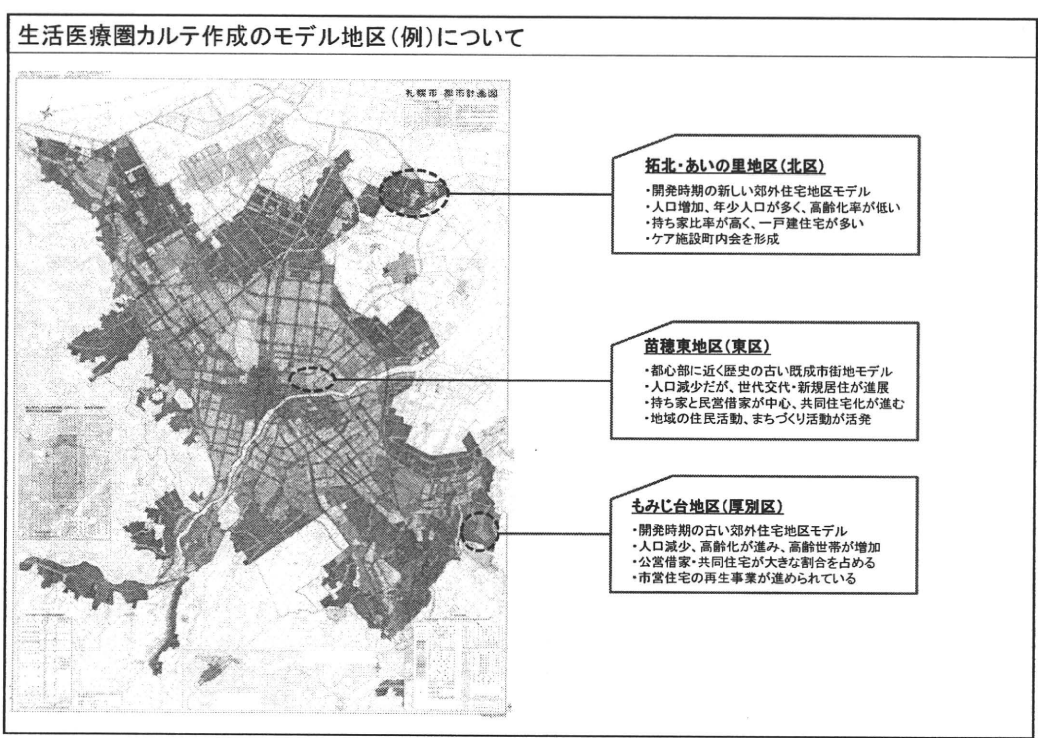
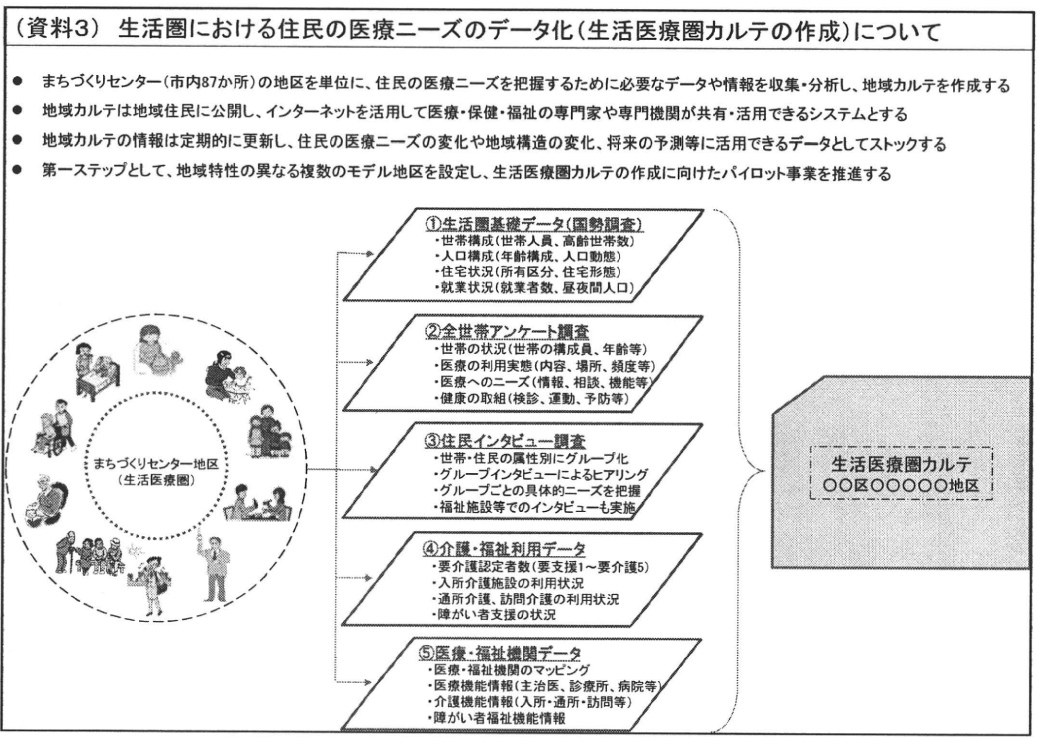


【3-5】重点施策の展開イメージ ⑤医療・福祉の連携システムの構築



【3-6】重点施策の展開イメージ ⑥区役所のコーディネート機能の強化





モデル地区例の地域基礎データ

(H23.3.1住民基本台帳、H17.10.1国勢調査)

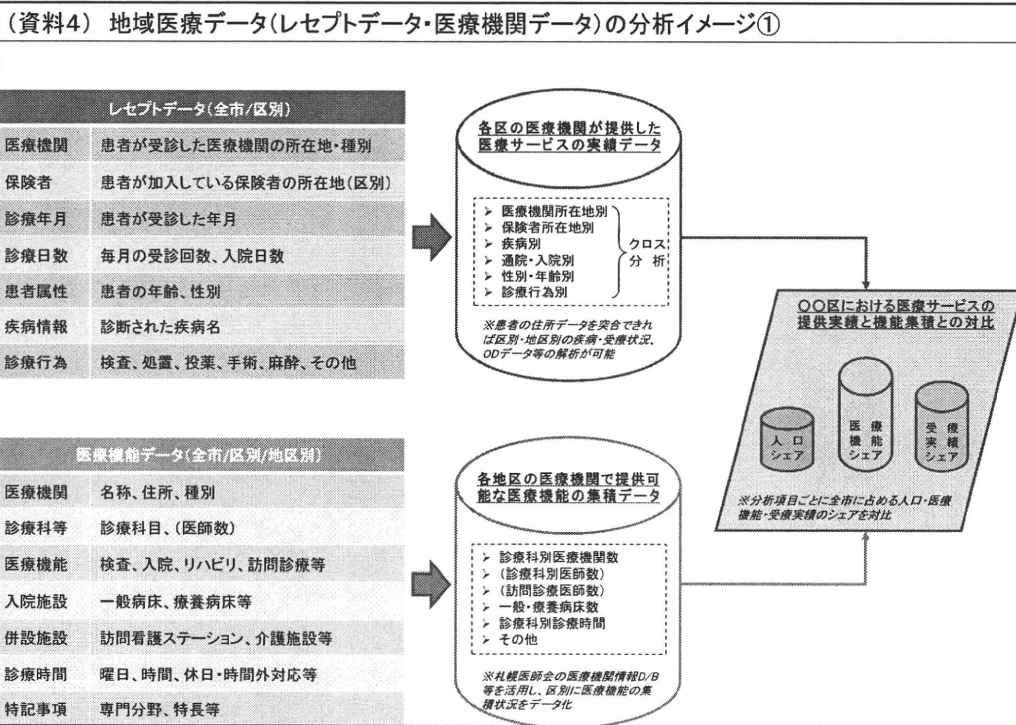
人口・世帯構造		拓北 あいの里	もみじ台	苗穂東	全市	
世帯数(世帯)		13,020	8,603	4,394	964,390	
世帯数(世帯)	1人世帯(%)	14.2	23.7	29.6	37.1	
	2人世帯(%)	27.9	37.8	30.4	27.9	
	3人世帯(%)	24.4	21.1	21.5	17.6	
	4人世帯(%)	24.3	13.2	14.3	13.1	
	5人世帯(%)	7.5	3.3	3.2	3.4	
	6人以上世帯(%)	1.7	0.9	1.0	0.9	
	平均世帯人員(人)	2.89	2.37	2.34	2.25	
人口(人)		32,425	17,392	8,639	1,897,261	
性別	男性(%)	48.0	44.3	47.4	47.1	
	女性(%)	52.0	55.7	52.6	52.9	
年齢別	年少人口		15.5	11.6	12.5	11.9
	0-15歳(%)		15.5	11.6	12.5	11.9
	生産年齢人口		66.8	55.8	69.0	67.8
	15-24歳(%)		12.7	8.4	9.8	10.2
	25-34歳(%)		10.5	8.5	14.5	13.5
	35-44歳(%)		14.0	12.2	14.6	15.3
	45-54歳(%)		15.9	9.5	13.7	13.2
	55-64歳(%)		15.6	17.1	16.4	15.4
	老年人口		15.7	32.6	18.4	20.3
	65-74歳(%)		8.0	19.2	10.0	10.7
	75歳以上(%)		7.7	13.4	8.4	9.6
	平均年齢(歳)		41.8	49.5	43.8	44.4

高齢世帯の状況	拓北 あいの里	もみじ台	苗穂東	全市
高齢家族のいる世帯(%)	26.5	42.1	24.9	26.0
高齢単身世帯(%)	5.2	13.3	6.6	7.4
高齢夫婦世帯(%)	9.6	15.2	7.8	8.4

住宅の状況	拓北 あいの里	もみじ台	苗穂東	全市
持ち家(%)	84.7	25.8	41.2	48.1
公営借家(%)	2.9	70.6	15.8	4.8
民営借家(%)	9.8	1.4	33.4	42.4
給与住宅(%)	1.1	1.3	7.8	2.9
一戸建(%)	74.2	27.6	22.7	36.2
共同住宅(%)	24.8	72.3	75.0	62.2
うち分譲型(%)	13.2	0.4	19.3	14.1

就業の状況	拓北 あいの里	もみじ台	苗穂東	全市
労働力人口(%)	57.6	51.0	60.8	59.1
就業者(%)	54.6	44.8	56.3	54.8
失業者(%)	3.0	6.2	4.5	4.3
非労働力人口(%)	42.4	49.0	39.2	40.9
家事(%)	20.0	19.6	19.0	19.1
通学(%)	11.5	5.7	6.1	7.5
その他(%)	10.9	23.6	14.0	14.3

資料3-4



地域医療データ(レセプトデータ・医療機関データ)の分析イメージ②

項目	全市	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区
◆基礎データ											
※各区の人口シェア(H23.3.1現在)											
◇総人口	100.0	11.2	14.5	13.4	10.8	6.8	11.1	6.1	7.7	11.1	7.4
年少人口	100.0	10.0	15.3	13.9	10.6	6.8	10.6	7.1	6.9	11.1	7.6
老年人口	100.0	10.3	14.4	12.8	10.0	7.2	11.0	5.7	9.5	11.6	7.6
◆受療実績データ											
◇外来受診者数(延べ回数)	100.0										
患者属性(性別・年齢)	100.0										
種別・診療科別	100.0										
疾病別	100.0										
◇入院患者数(延べ日数)	100.0										
患者属性(性別・年齢)	100.0										
種別・診療科別	100.0										
疾病別	100.0										
◆医療機能データ											
◇医療機関数	100.0										
種別・診療科別	100.0										
専門別・機能別	100.0										
◇医師数	100.0										
(種別・診療科別)	100.0										
専門別・機能別	100.0										
◇病床数	100.0										
一般病床	100.0										
療養病床	100.0										
◇診療時間(延べ時間)	100.0										
種別・診療科別	100.0										

※各項目ごとに全市を100として各区の医療機能における受療実績シェアを算出

※各項目ごとに全市を100として各区の医療機能の集積シェアを算出